

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 77 (当初計画: No. 72)

東北森林管理局

取組名	素材のシステム販売を活用した大口需要者への対応 (継続)
流域名	米代川流域 (米代東部)
分類番号	カ-22
実施箇所及び実施日	実施箇所: 米代東部森林管理署管内 実施日: 7月~12月
取組の背景及び必要性	大口需要者から国有林材の安定的・計画的な供給が求められている。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 これまでも素材の安定供給システムにより、合板工場や地元製材所と締結された販売協定に基づき、地域材の安定的・計画的な供給に努めている。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 販売協定により4社に素材22, 450 m<sup>3</sup>を供給する見込み。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>米代東部森林管理署・資源活用課 地域材の安定的・計画的な供給</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>合板工場・地元製材工場 地域材の利用促進</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	国有林材の計画的・安定的な素材の供給が図られた。引き続き大口需要者に対応できる安定供給体制が必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	各種会議等において、国有林材の安定供給システム等の実施内容を紹介し、地域材の需要拡大に努めた。

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 78 (当初計画 : No. 73)

東北森林管理局

取組名	間伐材等木材利用の PR (継続)
流域名	米代川流域 (米代東部)
分類番号	カ-24
実施箇所及び実施日	実施箇所 : 米代東部森林管理署管内 実施日 : 5月~12月
取組の背景及び必要性	間伐等による森林整備の促進により、木材供給量が増加していることから、国有林が率先し間伐材等の木材を使用するなど木材の需要拡大を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 国有林野事業の治山・林道工事に間伐材等の木材を使用した工法を取り入れ木材の PR に努めている。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】 国有林野事業の治山・林道工事に間伐材等の木材を使用した工法 (治山 : 存置型柵工 4 箇所・木製ブロック 4 箇所、林道 : 木柵工 4 箇所・型柵工 2 箇所) を実施し、木材利用の PR 及び施工技術の向上に努めた。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署 間伐材を使用した工法の採用
連携協働相手先・役割	治山・林道工事受注業者 施工技術のレベルアップ
取組の結果、反響、今後の課題等	木材を使用した工法は、自然と調和し入林者からの評判も良く、また、地域材の利用拡大が図られることから、継続した取組が求められている。 今後も、景観・コスト等を考慮しながら木材を使用した工法を積極的に施工していく。
PR の実施状況及びその期待する効果	各種会議等で取組状況を紹介した。間伐材等木材を使用した施工技術の向上に貢献するとともに、国有林野事業への理解が深まった。

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 79 (当初計画 : No. 74)

東北森林管理局

取組名	米代川流域における低コスト施業の促進 (新規)
流域名	米代川流域 (米代東部)
分類番号	ア11・イ-15
実施箇所及び実施日	実施箇所 : 米代東部森林管理署管内 実施日 : 5月~12月
取組の背景及び必要性	流域内の諸課題は、流域活性化センターを中心に様々な取組が行われてきたところであるが、低コスト施業の促進は重要な課題であることから検討会等を通じてレベルアップを図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 流域内で行われる低コスト森林作業道作設検討会に出席するとともに、当署でも管内林業事業体等のレベル向上を目的に「森林作業道作設検討会」を実施した。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】 米代川流域 3 森林管理 (支) 署と米代川流域フォレスターチームが、合同で更なる施工技術の向上を図ることを目的に「森林作業道作設検討会」を開催した。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部署・上小阿仁支署・米代西部署 作設状況及び施工の問題点や改良点を説明
連携協働相手先・役割	米代川フォレスターチーム 民有林の市町村別作設状況を説明
取組の結果、反響、今後の課題等	参加林業事業体からは引き続き開催要望がある。 技術力向上と技術者共通の指針に基づく認識のレベルアップが必要
PRの実施状況及びその期待する効果	林業事業体の技術力向上と施工技術者のレベルアップ

## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 80 (当初計画: No. 75)

東北森林管理局

取組名	民・国連携による森林整備の推進 (継続)
流域名	米代川流域 (米代東部)
分類番号	ウー16
実施箇所及び実施日	実施箇所: 米代東部森林管理署管内
取組の背景及び必要性	森林施業の集約化・低コスト化等を図るため、民有林・国有林の路網整備状況の情報交換を行い、民・国一体となった効率的な路網整備等を推進する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>平成23年3月16日に秋田水源林事務所、大館北秋田森林組合、当署の3社による大館市長木地域森林整備協定を締結するなど路網整備等の推進に努めてきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】</p> <p>平成25年4月1日から更に5年間の協定延長を締結した。          なお、8月の豪雨被害により民有林、国有林とも林道が甚大な被害を受け事業等は出来なかった。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>米代東部森林管理署 5年間の事業計画、協定延期に伴う関係者との打合せ</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>秋田水源林事務所 5年間の事業計画</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	
PRの実施状況及びその期待する効果	各種会議等において森林共同施業団地等について説明

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 81 (当初計画: No. 76)

東北森林管理局

取組名	小中学生のための森林環境教育と出前講座の開催 (継続)
流域名	米代川流域 (米代東部)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	実施箇所: 北秋田市 実施日: 5月~2月
取組の背景及び必要性	小学生を対象とした森林教室や林業体験学習への取組に対して地域からの要望がある。また、国民の森林・林業に対する理解と関心を深めることが必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 「総合的な学習時間」等において、植林・育林体験、森林の管理の仕方、森林の働き、自然観察会、木材の使い方等の森林教室を通じて森林環境教育を実施している。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 鷹巣南小学校5・6年生を対象に、5月はスギの植樹、11月はスギの枝打ち等を行い、2月には冬の動物観察等を行う。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署 教材の準備、植樹・育林指導
連携協働相手先・役割	鷹巣南小学校、北秋田地域振興局、地元住民 日程調整、児童引率
取組の結果、反響、今後の課題等	森林環境教育、林業体験等を通じて森林に対する理解が図られ、父兄等からの反響も大きい。更なる内容の充実に努める必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	地元新聞への記事の掲載により地域に対して国有林のPR効果がある。

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 82 (当初計画 : No. 77)

東北森林管理局

取 組 名	地元で開催される植樹祭への参画等 (継続)
流 域 名	米代川流域 (米代東部)
分 類 番 号	カ - 32
実施箇所及び 実施日	実施箇所 : 鹿角市十和田大湯黒森山自然公園 実 施 日 : 5月
取組の背景及 び必要性	鹿角市で開催される植樹祭に参画し、地域の森林・林業に対する理解を深める必要がある。
取 組 の 内 容	<p>【これまでの取組内容】 行政及び民有林関係者が連携し毎年開催している植樹祭に参画し一般市民、小中学生による植樹を実施するとともに、国有林野事業に対する理解を深めている。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】 植樹祭実行委員会へ参画するとともに、当日は一般市民及び小中学生に国有林野事業の取組を説明した。</p>
国有林担当 部局・役割	米代東部森林管理署 植樹祭実行委員会への参画
連携協働相 手先・役割	鹿角市、鹿角市緑化推進委員会、鹿角地域振興局、鹿角森林組合 植樹祭の企画、会場準備、参加者の募集
取組の結果、 反響、今後の 課題等	緑化推進活動の一環として開催している植樹祭へは地元小中学生や一般市民など約 200 名が参加した。
P R の 実 施 状 況 及 び そ の 期 待 する 効果	多数の参加者が自ら植樹したことにより緑化意識の高揚が図られ、森林・林業への理解が醸成される。